

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490100136	事業の開始年月日	平成23年4月1日
		指定年月日	平成23年4月1日
法人名	ミモザ株式会社		
事業所名	ミモザ横浜岸谷		
所在地	(〒230-0078) 神奈川県横浜市鶴見区岸谷1-10-27		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和6年12月15日	評価結果 市町村受理日	令和7年3月6日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/14/index.php?">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/14/index.php?</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設は京浜急行生麦駅より徒歩5分程度と非常にアクセスが良く、面会や見学などお気軽にお越しいただいております。特に面会に関しましては一時期新型コロナウイルスの影響により制限されておりましたが、現在では感染防止対策実施のもと大きな制限や面会時予約の必要もなく実施させていただいております。

介護用ベッド・収納・防炎カーテン・照明等を完備し、入居しやすい環境を整えております。施設内の装飾は毎月季節に合わせて変更しており、施設内の生活であっても季節の移ろいを感じていただけるよう努めております。また施設内にはプチ菜園がございます。こちらでもシーズンに合わせてご利用者とともに様々な植物を育み成長を日々楽しんでおります。さらにそのようなご様子を毎月ブログにて公開させていただき、いつでもどこでもどなたでも日々のご様子をご覧いただけます。

介護福祉士多数在籍のため様々なご相談に対応が可能です。お食事に関しても手作りメニューやレクレーションなどにより、美味しさと楽しさを感じていただけるよう努めております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和7年1月16日	評価機関 評価決定日	令和7年1月31日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

**【事業所の優れている点】**

◇利用者一人ひとりに寄り添ったケア

- ・事業所理念を「個性を尊び、第二の我が家として暖かな繋がりのある暮らしをご提供します」に、職員の意見も入れて、この9月に新たに変更し、利用者の心に寄り添ったケアに取り組んでいる。
- ・多くの職員が介護福祉士の資格を持ち、介護についてより良い方法を常に検討し、チームとして連携し、利用者の希望に沿ったケアに取り組み、利用者、家族にも安心感を与えている。

◇食の楽しみを支援

- ・以前は湯煎で食事を提供していたが、朝、昼食は手作りし、夕食も一部手作りで提供し、利用者が食事を楽しんでいる。
- ・利用者一人ひとりに合わせて誕生会を行ない、毎月1回食事レクを行なっている。焼きそばやホットケーキなどを利用者も調理の段階から参加し、利用者の希望でハンバーガーを買ってきて食べるなど楽しんでいる。

**【事業所が工夫している点】**

◇利用者家族の面会を支援

- ・事業所が駅から近いこともあり、毎日のように家族の面会がある。職員は家族がリビングで他の利用者と一緒に茶饮んだり、居室での面会を支援している。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ミモザ横浜岸谷
ユニット名	サルビア壺番館

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年の9月に事業所理念を見直し、地域社会にどのように貢献していくか果たすべき使命として新たに變更いたしました。その理念のもと、ご利用者の生活の向上を目指し介護を行っております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月に事業所理念を「個性を尊び、第二の我が家として暖かな繋がりのある暮らしをご提供いたします」に変更し、階段踊り場に掲示し、職員間で共有している。</li> <li>・利用者一人ひとりの状況に応じたケアに努めている。</li> </ul>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	隔月実施の運営推進会議にて、地域への情報発信と地域からの情報提供をいただいております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に加入しているが、コロナ禍以降、地域の行事に参加できていない。地域のお祭りにはお神輿の見物に出かけている。</li> <li>・アニマルセラピーのボランティアが4、10月と訪れ、犬とのふれあいを楽しんだ。</li> </ul>	・コロナウイルス5類以降の現在、地域の行事への参加、交流の再開を検討することが望まれます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方からご相談をいただくことが度々ございます。そちらの際には施設をご見学をいただいたり介護などについてアドバイスをさせていただいたりしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月実施の運営推進会議にて、地域への情報発信と地域からの情報提供をいただいております。また議事録を作成し、入口にてどなたでも御覧になれるようご準備しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、事業所職員、利用者家族の参加を得て、隔月に開催している。</li> <li>・事業所の活動状況の報告、意見交換を行っている。</li> <li>・議事録を玄関にファイルにして置き、見られるようにしている。</li> </ul>	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給のご利用者について、定期的に生活支援課の方が施設にお越しいただいております。そちらの際には普段のご様子のご確認させていただいたりご報告などをさせていただいております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区高齢障害支援課とは、利用者の区分変更手続きや介護保険の問い合わせなどで連携している。</li> <li>・生活保護受給者がおり、区生活支援課職員の事業所への来訪がある。</li> <li>・地域包括センター職員とは事業所の空き情報の交換をしている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止等の適正化のための指針を作成し、どなたでもご覧になれるようご準備しております。隔月で会議の実施と議事録の作成を行っており、年に2回研修を実施しております。	・身体拘束適正化委員会を年6回開催し、議事録を作成、回覧し職員は内容を確認している。職場30分研修を年2回行なっている。 ・職員は言葉による拘束（スピーチロック）をしないように、適切なケアを心がけている。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のための指針を作成し、どなたでもご覧になれるようご準備をしております。年に2回会議の実施と議事録の作成を行っており、同じく年に2回研修も実施しております。	・虐待防止のための指針を作成し、玄関にファイルにして置いている。 ・職員は、年2回30分研修を受け、言葉かけ、名前の呼び方、声の大きさに気を付け、スピーチロックのないケアに心がけている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在ご利用者の中には任意後見人や補助人をご利用されている方がいらっしゃるため、担当されているご利用者に関すること以外の面でもご相談させていただいたりお話を伺ったりする機会がございます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にしっかりと契約書等のご説明を行い、ご理解をいただいております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	対応方法やその他施設運営等に関して、ご本人またはご家族からいただいた意見を職員間で共有、協議しております。また本社苦情相談窓口や県又は市の申し立て機関について契約書等に記載、ご案内しております。	・利用者の意見や要望は、日ごろの会話や表情から把握し、聞き取った情報は連絡ノートや申し送りノートで共有している。 ・家族からは面会時に、「水分を取るように声かけしてほしい」を聞いて要望に応じている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや日常業務の中でも介護や運営に関して様々なやりとりを行いより良い施設を目指しております。また定期的に職員会議を実施しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ会議や、日々の業務の中で、職員から意見を聞いている。</li> <li>・職員の要望から管理者の業務予定を共有できるよう予定表を掲示したり連絡網の作り直しを行なった。</li> </ul>	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が担当している施設業務に応じて手当が付与されております。また所有資格に応じて給与水準が変化し、資格取得に向けてのサポートもごさいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人による給与体系や就業環境が整備されている。</li> <li>・管理者は職員の意見から働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。</li> <li>・夜勤者は年2回、日勤者には年1回健康診断を行なっている</li> </ul>	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	立場に応じて様々な研修やキャリアアップ制度がごさいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人の研修や外部研修への参加を奨励し、介護専門資格の取得や職員の能力や意欲の向上に努めている。</li> <li>・毎月、施設内で30分研修（接遇、身体拘束廃止、虐待防止、感染症対応等）を行ない、職員育成に努めている。</li> </ul>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内研修が毎月多種開催されており、また毎週管理者会議がごさいます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学、実調の際にお困りごとやどういったご生活を望まれていらっしゃるのか伺っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時にお困りごとについて聞き取りを実施しております。また入居時の対応や入居後のケアプラン作成時などにも適宜お話を伺わせていただいております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状を確認した上で目標を設定し、そちらに向けたケアをご提供しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は親身となって接しており、またご利用者同士も協力しながら共同生活を過ごされております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人へ適切なケアを行う上でご家族のご協力も必要不可欠であることをサービス開始時にお伝えし、可能な範囲で関わっていただいております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご面会の制限を設けず、ご本人またはご家族から許可をいただけている方であればいつでもどなたでもお受けしております。また手紙のやりとりなどもサポートしております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のこれまでの馴染みの関係は、入居時に把握し、職員間で共有している。</li> <li>・面会は、居室やリビングで行ない、他の利用者と一緒におやつを食べたりしてる。家族の話から、編み物が得意の情報を得、利用者との話題にしている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係性を重視し、食席などを工夫しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去となった方の情報も施設にて厳密に保管されております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアが施設都合とならないよう、職員間でも定期的に俯瞰的な見直しを実施しております。	・職員は、日々の生活の中で本人の思いや意向を把握し、申し送りや連絡ノート、タブレットに記載し、職員間で共有している。 ・把握の困難な方は、表情や仕草から判断している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からご本人の情報を伺い、より良い生活を目指しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の日々様子を観察し、細かな変化にも気づき共有できる体制を整えております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状の把握・共有・対応方法などを日々話し合い、ご本人やご家族へ確認を行いながら介護計画を作成しております。	・毎月モニタリングを行い、家族や医師の意見を入れ、スタッフ会議でカンファレンスを行い、ケアプランの見直しを行なっている。3～6か月で見直している。 ・状況が変化したときはその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を日々残し、また連絡ノートや申し送り等で細かな情報も共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて施設として出来ることを模索し、柔軟な対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問理美容に隔月でご依頼しております、また傾聴ボランティアへの依頼なども状況によって検討しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関より受診の勧めがあった場合はご家族と相談を行ったうえで受診など対応しております。	・嘱託医の訪問診療は、内科医が月2回、歯科医は利用者との契約による訪問となっている。看護師は毎週水曜日に来訪がある。 ・通院は原則家族の付き添いとなっており、診療の結果は口頭で説明を聞き嘱託医に伝えている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週訪問看護に来ていただきしており、細かな変化等も共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先や協力医療機関と適切に情報共有を行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	協力医療機関と連携し、看取り対応についてもご家族への説明実施のもと行っております。	・重度化や終末期の対応について指針があり、入居時に家族に説明している。終末期ケアに入る時は、医師・家族・管理者・ケアマネジャーで今後の方針を決めている。 ・職員には、看取り経験者から説明し不安解消に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、定期的に確認を行っております。また急変時には協力医療機関にてオンコール体制を整備しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCPを作成し、年に2回研修を実施しております。	避難訓練は、夜間想定を含めて年2回行なっている。消防署の立ち合いがあるときは、水消火器による消火訓練を行なっている。 ・事業継続計画（BCP）を作成し、これに沿った災害備蓄品を倉庫に保管している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護や尊厳について研修を行っております。	・プライバシー保護については、利用者の尊厳維持の観点からも、職員が最も気を付けるべき事項として、トイレ・入浴介助の際に配慮が必要なことを共有している。 ・接遇に関する30分研修を職員に行なっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛けなどご利用者ごとに適した手段を検討し実行しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者をご自由に過ごしていただけるよう、一人ひとりに沿った介護を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族に衣類をご用意していただいたり好みを伺ったりし、その方らしい身だしなみを意識しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的にレクレーションを実施し、ご利用者とともにご飯を準備する場を設けております。	・献立と食材は業者から提供されているが、昼食は完全手作りとなっており、利用者から好評を得ている。 ・肉が食べられない利用者には、献立の一部変更を業者に依頼し、魚などの別メニューで利用者の意向に応じている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し、不足している場合は声掛けなどにより接種が出来るようケアを行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日3食後、ご利用者に合わせた口腔ケアを行っております。またご家族等とご相談し、必要に応じて訪問歯科も実施しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各ご利用者の状況を都度理解し、適正な排泄介助を行っております。	・排泄チェックリストがデータ入力されており、職員はそれにより排泄パターンを認識し、利用者のトイレ誘導を行なっている。 ・夜間はポータブルトイレを使用したり、夜間だけオムツを着けたり、個人個人の対応を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	協力医療機関と連携し、排便コントロールに取り組んでおります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	日時は目安として決まっているが、入浴時の声掛けによって意思を確認し状況に応じて柔軟に対応しております。	・入浴は週2回、午前中に入ることを原則にしている。家族の要望で週3回入浴する利用者もいる。お湯は一人ひとりごとに替えている。 ・季節の菖蒲湯・柚子湯をしたり、入浴剤等を使用したりして、くつろいで入浴できる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的に自由な時間を過ごしていただいております、状況に合わせて日中の臥床補助も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	協力医療機関へ服薬の結果やご様子等を共有し、状況把握や要不要の判断指示をいただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の状況に応じて様々なお手伝いをお願いし、施設の一員として担っていただいております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人からご希望があった際にはご家族や協力医療機関とも相談を行い、支援できることがないか検討しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナも第5類に変更となったので、天気の良い日には、近くの公園まで15～20分程度の散歩をしている。</li> <li>・正月には近くの杉山神社に初詣を行なった。春には、花見レクを検討している。</li> </ul>	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はご家族やキーパーソンが管理していますが、購入品等に関してはご本人の意向のもと相談を行い購入しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在希望者はいらっしゃりませんが、在籍している際には手紙のやり取りのサポートや電話の扱いのサポートなど実施いたします。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	装飾や使用物品、明るさや匂い等ご利用者にご満足いただけるよう日々確認しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気は午前中居室に利用者がない時に行ない、加湿器を使って湿度を補うこともある。夜勤者が共有部分の清掃、食器の消毒を行なっている。風呂、トイレは日勤者が適宜清掃をしている。</li> <li>・リビングの壁には利用者の作品を展示している。</li> </ul>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで過ごせるようケアを行ったり、会話の機会が生まれるよう食席を工夫したりしております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談をし好みなどを確認しながら、ご本人の生活がより充実できるよう努めております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室には、エアコン、ベッド、マットレス、カーテン、照明を事業所が揃え、利用者は家族の写真、使い慣れた家具、枕等を持ち込んで自分らしい部屋作りを行なっている。</li> <li>・日曜日は居室掃除の日と決め、職員が清掃を行なっている。</li> </ul>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の容態に合わせて様々なケアをご提供し、また施設のお手伝いなどを行っていただいております。		

事業所名	ミモザ横浜岸谷
ユニット名	サルビア式番館

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年の9月に事業所理念を見直し、地域社会にどのように貢献していくか果たすべき使命として新たに更改いたしました。その理念のもと、ご利用者の生活の向上を目指し介護を行っております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隔月実施の運営推進会議にて、地域への情報発信と地域からの情報提供をいただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方からご相談をいただくことが度々ございます。そちらの際には施設をご見学をいただいたり介護などについてアドバイスをさせていただいたりしております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月実施の運営推進会議にて、地域への情報発信と地域からの情報提供をいただいております。また議事録を作成し、入口にてどなたでも御覧になられるようご準備しております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給のご利用者について、定期的に生活支援課の方が施設にお越しいただいております。そちらの際には普段のご様子のご確認をいただいたりご報告などをさせていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止等の適正化のための指針を作成し、どなたでもご覧になれるようご準備しております。隔月で会議の実施と議事録の作成を行っており、年に2回研修を実施しております。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のための指針を作成し、どなたでもご覧になれるようご準備をしております。年に2回会議の実施と議事録の作成を行っており、同じく年に2回研修も実施しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在ご利用者の中には任意後見人や補助人をご利用されている方がいらっしゃるため、担当されているご利用者に関すること以外の面でもご相談させていただいたりお話を伺ったりする機会がございます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にしっかりと契約書等のご説明を行い、ご理解をいただいております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	対応方法やその他施設運営等に関して、ご本人またはご家族からいただいた意見を職員間で共有、協議しております。また本社苦情相談窓口や県又は市の申し立て機関について契約書等に記載、ご案内しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや日常業務の中でも介護や運営に関して様々なやりとりを行いより良い施設を目指しております。また定期的に職員会議を実施しております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が担当している施設業務に応じて手当が付与されております。また所有資格に応じて給与水準が変化し、資格取得に向けてのサポートもごさいます。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	立場に応じて様々な研修やキャリアアップ制度がごさいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社内研修が毎月多種開催されており、また毎週管理者会議がごさいます。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学、実調の際にお困りごとやどういったご生活を望まれていらっしゃるのか伺っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時にお困りごとについて聞き取りを実施しております。また入居時の対応や入居後のケアプラン作成時などにも適宜お話を伺わせていただいております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現状を確認した上で目標を設定し、そちらに向けたケアをご提供しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は親身となって接しており、またご利用者同士も協力しながら共同生活を過ごされております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人へ適切なケアを行う上でご家族のご協力も必要不可欠であることをサービス開始時にお伝えし、可能な範囲で関わっていただいております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご面会の制限を設けず、ご本人またはご家族から許可をいただけている方であればいつでもどなたでもお受けしております。また手紙のやりとりなどもサポートしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係性を重視し、食席などを工夫しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去となった方の情報も施設にて厳密に保管されております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアが施設都合とならないよう、職員間でも定期的に俯瞰的な見直しを実施しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からご本人の情報を伺い、より良い生活を目指しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者の日々様子を観察し、細かな変化にも気づき共有できる体制を整えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状の把握・共有・対応方法などを日々話し合い、ご本人やご家族へ確認を行いながら介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を日々残し、また連絡ノートや申し送り等で細かな情報も共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じて施設として出来ることを模索し、柔軟な対応を心掛けております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問理美容に隔月でご依頼しております、また傾聴ボランティアへの依頼なども状況によって検討しております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関より受診の勧めがあった場合はご家族と相談を行ったうえで受診など対応しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週訪問看護に来ていただき、細かな変化等も共有しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先や協力医療機関と適切に情報共有を行っております。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	協力医療機関と連携し、看取り対応についてもご家族への説明実施のもと行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し、定期的確認を行っております。また急変時には協力医療機関にてオンコール体制を整備しております。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	BCPを作成し、年に2回研修を実施しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護や尊厳について研修を行っております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	声掛けなどご利用者ごとに適した手段を検討し実行しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者をご自由に過ごしていただけるよう、一人ひとりに沿った介護を心掛けております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族に衣類をご用意していただいたり好みを伺ったりし、その方らしい身だしなみを意識しております。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的にレクリエーションを実施し、ご利用者とともに食事を準備する場を設けております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し、不足している場合は声掛けなどにより接種が出来るようケアを行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日3食後、ご利用者に合わせた口腔ケアを行っております。 またご家族等とご相談し、必要に応じて訪問歯科も実施しております。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各ご利用者の状況を都度理解し、適正な排泄介助を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	協力医療機関と連携し、排便コントロールに取り組んでおります。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	日時は目安として決まっているが、入浴時の声掛けによって意思を確認し状況に応じて柔軟に対応しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的に自由な時間を過ごしていただいております、状況に合わせて日中の臥床補助も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	協力医療機関へ服薬の結果やご様子等を共有し、状況把握や要不要の判断指示をいただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の状況に応じて様々なお手伝いをお願いし、施設の一員として担っていただいております。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人からご希望があった際にはご家族や協力医療機関とも相談を行い、支援できることがないか検討しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はご家族やキーパーソンが管理していますが、購入品等に関してはご本人の意向のもと相談を行い購入しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	文通のお手伝いなど、要望に応じて対応しております。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	装飾や使用物品、明るさや匂い等ご利用者にご満足いただけるよう日々確認しております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファで過ごせるようケアを行ったり、会話の機会が生まれるよう食席を工夫したりしております。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族と相談をし好みなどを確認しながら、ご本人の生活がより充実できるよう努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の容態に合わせて様々なケアをご提供し、また施設のお手伝いなどを行っていただいております。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 ミモザ横浜岸谷

作成日 令和 6年 12月 15日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	55	施設内雨漏りの発生	事故防止、施設内環境整備のため雨漏り箇所の修繕の依頼、達成。	オーナー様(JR様)とやり取りを行い、工事に向けてスケジュールを進めていただいております。	半年以内
2	49	外出レクの不足	外出レクの充実化	大規模なレクリエーションにより時間を割り振れるよう、スタッフィングと業務時間を見直しを実施いたします。	来年度内
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。